ではないかという心配があります。どこが坑道であったか地図などが残っていないかどうか伺います。

答弁 傾斜地が崩れたり、田んぼに亀裂が入ったりといった被害が今時点で179件の報告があり、うち江刺が142件あります。3班体制で調査中です。被害箇所の中で昔は坑道だったと農家から報告された箇所もあります。坑道の地図は持ち合わせてはいません。

質問 地震の影響でパイプラインの被害が心配されます。作付の前の対応が必要です。またいさわ南部の国営事業のパイプラインの影響も含め、伺います。

答弁 実際に水を流してみて被害状況を確認したい。いさわ南部の事業は22年度の事業でしたが、4月末の土地改良区への引き継ぎは1年延長し、国に対し慎重な対応を求めていく方向です。

質問 酪農家への震災被害の状況について伺います。

答弁 燃料不足のため運搬ができない状況にあり、酪農家では搾乳したものを捨てている状況です畜産農家、特に養豚農家では、飼料が配達されず懸念されています。飼料工場が沿岸部に多く、震災の影響を受けています。影響を最小限に食い止めなければなりません。

質問 今年度の新規就農者について、また花卉や野菜作りの施設に対する支援や生活の担保などより実効性のある施策を打つべきと考えますが、伺います。

答弁 今年度の新規就農者は8人です。すべてUターンからの就農です。昨年は22名でしたので、かなりの減少になります。県の農業公社や胆江地域内の組織とも連携しながら推進してまいりたいと考えます。

建設環境部門

質問 自主防災組織のあり方について伺います。

答弁 組織が作られた直後であり、自主防災組織の必要性を含め、理解を深めていただく対応を今後も進めて参ります。

質問 消防団の整備計画について伺います。

答弁 消防の活動に市全体として啓発活動を行い理解を求めて参ります。施設整備については、年次計画をもって対応して参ります。また、組織を一元化することによって情報の一体化が計られ、体制が充実されると考えます。地域がぜい弱にならないよう配慮して参ります。

質問 災害に伴う市民相談について伺います。

答弁 激甚指定になっていることから災害に係わる相談は、県内外を問わず総合的に対応して参ります。

質問 前沢地区の黒水対策について伺います。

答弁 毎年対策を行っておりますが今後とも万全の対応をいたして参ります。

質問 水道事業のプロポーザルの見直しの考えがあるか伺います。

答弁 多面的に協議検討をしてゆく必要があると考えております。

質問 市営住宅の防災点検について伺います。

答弁 定期的に点検を行っており、改善を要する箇所については早急に対応して参ります。

質問 岩谷堂高校における道路取り付け状況について伺います。

答弁 3年程前から県当局と協議を行っており、生徒の安全面からも早急に事業着工がなされるよう引き続き要望して参ります。

質問 久田前田中線の工事進捗状況について伺います。

答弁 用地取得については96％、補償は90％になっており、23年において一定の目処をつけ、事業認可期間である25年完成に向け進めて参ります。

質問 住宅リフォーム制度の見直しについて伺います。

答弁 災害にも適応しえる制度に向け早急に協議して参ります。

質問 市道、増沢高堂線は地元住民の要望に答え、早急に復旧すべきものと考えますが、市としての考えを伺います。

答弁 災害認定を満たすことはできなかった箇所ではありますが、現状調査の上、地元要望を踏まえて真摯に対応して参ります。

質問 圃場整備地内における生活道路は早急に舗装すべきと考えますが当局の考えを伺います。

答弁 創設用地については順次舗装を行っておりますが、今後、道路整備計画の中に於いて検討して参ります。

質問 道路維持管理の状況について伺います。

答弁 道路パトロールを実施しておる中で保全管理を行っております。区毎の管理費の割合は、水沢区45％、江刺区20％、前沢区15％、胆沢区10％、衣川区10％程となっています。

質問 広域農道の管理は県に移管すべきと考えますが市としての考えを伺います。

答弁 栗原北上線県道促進協議会において、統一要望しておる事項でもある事から、今後とも県当局に強く働きかけをして参ります。